



たこぎ 議会だより

たま



12月 定例会議

発議あり P3

どう
お考えか? 5人が問う ... P5~P9

どう進めるのか!? P11

No.103

平成 29 年2月2日
熊本県多良木町議会発行

奥球磨ロードレース

議長年頭あいさつ



復興と飛躍をめざして！

議長
村山 昇

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、日頃より議会に対しまして温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、四月の熊本地震をはじめとする自然災害が日本各地で頻繁に発生しており、改めて自然災害の脅威と災害対策事業の重要性を痛感した年でありました。尊い命を失われた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、あらゆる支援措置が講じられ、一日も早い復旧・復興を、本年も引き続き強く望んでおります。

このような中、本町を流れる幸野溝・百太郎溝水路群の世界かんがい施設遺産への登録や本町出身の力真関の十両昇進など、今後楽しみが明るいニュースもありました。

また、本町においては、昨年地方創生加速化交付金事業に着手し、しごと創生機構の設

立運営、地域資源を活かしたブランド推進事業及び企業誘致に向けた取組等を行っておりますが、議会としましても、今後も多良木町が持続発展していくために、協働して推進していく所存でございます。

その他にも様々な課題等が山積し、議会の果たすべき役割と責任は各段に重くなっておりますが、町・関係機関・諸団体の皆様方と連携しながら、町民の皆様の負託と期待にこたえられるよう鋭意取り組んでまいる所存でございます。

結びに、昨年の干支は申（さる）で今年は酉（とり）年でございます。悪いことや厄は、去つて（申）、新しい年が皆様にとつて飛躍（酉）の年となりますよう、併せて一層のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

あいあいスポーツ再び指定管理者へ

賛成 8

反対 2

町民体育館・武道館・総合グラウンドの3施設管理を「委託料の積算根拠のなかに、退職手当等の積立金に対する規定等の明記がないこと」に対しての源嶋・久保田両議員の質疑のあと源嶋議員の反対討論があったが、賛成多数で指定管理者に指定した。

今回の一般会計減額補正は歳入・歳出それぞれ2千583万7千円を減額し総額65億4219万4千円とした。理由として内示額の変更や委託金の返納とともに道路事業等の事業が認められず減額とし町単独事業とした。

主な歳入・歳出の補正は

(千円単位切り捨て)

歳入

●道路橋りょう費補助金(国庫補助金)	▲6270万円
●社会教育費国補助金(旧白濱旅館)	706万円
●歴町50選事業費県補助金(旧白濱旅館解体費)	300万円
●歴史回廊交流促進事業費県補助金	199万円
●森林総合研究所造林受託事業収入	463万円

歳出

●スマートインターチェンジ整備促進協議会	370万円
●地方バス路線維持費	137万円
●町長選挙及び町議補欠選挙費	207万円
●農業担い手確保・経営強化支援事業補助	217万円
●ふるさと納税謝礼	375万円
●農地費(県営仁原揚水改修事業負担金・諏訪下農道舗装事業)	698万円
●防災行政無線個別受信機	99万円
●防災備蓄等・備品等	480万円

12月定例会議は12月6日から13日までとし条例等4件・補正予算6件
発議1件を可決し代表監査員牧本光秋氏を選任した。

発議

—「地方議員に厚生年金」を求める法整備を!!—

議員発議 林田副議長

地方議会の責任と役割は重くなり活動は広い分野に及ぶ、しかし住民の関心の低下や議員のなり手不足がある。年金制度を時代にふさわしいものとし人材確保を図るべく意見書を提出する。
提出の理由として平成23年に年金制度が廃止されていたが、全国の町村議長会での永年の懸案で議員退職後の保障や議員を志す新たな人材確保と地位向上を図ることが大切である。

反対討論 久保田議員

議員が日常的に勤務しているのか疑問であり、年金保険料の半額は国民の血税である。議員の不祥事が続くなかでの提出は拙速である。

採決の結果 賛成9 反対1で原案通り可決し、現在郡市の8市町村で足並みを揃え、安倍総理と関係4大臣、衆参両議長に意見書を提出することとした。

5人が問う！ どうお考えか？

1、久保田武治議員（5 ページ）

- ①町長の政策・公約について
- ②畜産クラスター事業について
- ③川辺川利水事業について
- ④住宅リフォーム助成制度について
- ⑤町立保育所について

2、高橋裕子議員（6 ページ）

- ①町政の方向について

3、宇佐信行議員（7 ページ）

- ①地方創生事業の基盤強化について
- ②農林業振興策について
- ③地域環境の整備について
- ④木質バイオマス事業について

4、源嶋たまみ議員（8 ページ）

- ①各課等の事務バランスと職員の
意見・考えの反映の仕方について
- ②子どもたちへの教育について
- ③貧困対策の充実について
- ④ごみ処理とリサイクル事業に
ついて

5、中村正徳議員（9 ページ）

- ①地方創生加速化交付金について
- ②多良木町総合開発計画について
- ③日本遺産について
- ④県道改良について



代表監査委員選任

人吉 牧本税理士事務所
税 理 士

牧 本 光 秋 氏

柳瀬 博史代表監査委員の任期満了に伴い新たに
選任しました。

柳瀬監査委員たいへんお世話になりました。

・・・委員会のメンバー変更・・・

吉瀬議員の辞職に伴い魚住議員を総務産業委員長及
び議会運営副委員長に、また山中議員を総務産業副委
員長及び議会運営委員に決めました。

陳情配布一覧表

件名及び要旨	提出者
陳情書 「介護保険制度の見直し」と「介護従事者の勤務 環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情書	熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼 香代子
陳情書 地域の実情に応じた医療提供体制の確保を 求める陳情	熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼 香代子
陳情書 国民健康保険の改善に向けた陳情	熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼 香代子
陳情書 安心・安全の医療・介護の実現と夜勤交替制 労働の改善を求める陳情書	熊本県医療介護福祉 労働組合連合会 執行委員長 田中 直光

特別会計補正

国民健康保険（事業勘定）		（千円単位切り捨て）
5 8 7 3 万円追加	総額 1 6 億 2 3 8 0 万円	
久米財産区		
2 5 4 万円追加	総額 1 1 3 6 万円	
下水道事業		
7 7 万円追加	総額 2 億 9 0 5 8 万円	
介護保険		
5 0 7 6 万円追加	総額 1 5 億 6 6 3 6 万円	
後期高齢者医療		
1 5 0 万円追加	総額 1 億 4 0 3 8 万円	

久保田 武治



Q 畜産クラスター事業の生活への影響は

A 必要な調査と指導を行う

質問 畜産クラスター事業（農水省助成）として、王宮神社近くに畜舎建設が計画されているが、周囲の水田・稲への汚水・臭気・ほこり・日照不足等への影響は全くないのか。

久保農林課長 事業者はさまざまな対策を講じたいとのことだが、苦情等があれば丁寧に対応していく。

質問 水田等の作物に被害があった場合は、何か補償がなされるのか。

久保農林課長 圃場の交換や購入も検討するとの説明である。

質問 例えば、日本遺産を構成する王宮神社の駐車場に観光バスが到着した途端、北側に大きな畜舎が見えて、アンモニア臭や糞尿臭がしたら観光も台無しになるのではないか。そんな懸念や心配はないのか。

久保農林課長 そのようなことがあれば、いろいろ検討すべきかと思う。

質問 環境や生活権に関して、住民から訴えがあった場合、どのような対応・指導をするのか。

今井町民福祉課長 町の公害対策委員会での検討。法的には、環境行政を司る人

吉保健所と連携し、必要な調査と具体的な指導を行う。



畜舎予定地（正面は王宮神社）

Q 「住宅リフォーム助成制度」の拡充は

A 検討したい

質問 助成制度は1千万円の予算で9千5百万円の仕事が創出され、経済効果が上がっているが、さらに利用の拡大ができないか。

町長 現在、利用は一回と限定しているが、回数と助成額の上限を検討していきたい。

質問 予算の増額や、たとえば廃屋、納屋倉庫の解体や店舗の改装・改修など利用の拡大はできないか。

町長 住文化の整備・向上と町内業者の仕事創出を検討したい。

Q 「町立保育所」の方向性と派遣職員の待遇は

A 早く方向性を出したい

質問 現在、社会福祉協議会指定管理の町立保育所の方向性は。

町長 庁舎内のプロジェクト委員会で検討を進めているので、その意見を尊重し

決めていきたい。

質問 派遣職員の待遇改善をすべきではないか。

町長 待遇については、職員と派遣の職員が同じ仕事をしながら賃金格差が生じ

ていることの懸念はあり、今、国が進めている「同一労働同一賃金」に沿って考えているが、指定管理期間が次年度で終了するので、早い時期に方向性を出したい。



高橋 裕子



Q 町政の方向は

A 農業の活性化を一番に

質問 副町長の不在は職員に非常な負担になっていると思われる。その選任の時期と人材は。

町長 補佐のできる見識があり、行政的知識のある方にと考えている。選任は町長選挙後と思っている。

質問 教育長は不在となっている。行政または学校現場に精通した人材を選任すべきと思うが。

町長 教育熱心で、教育の向上・子どもたちの安心安全に情熱を持つ方と思っている。議会の同意を得られる方をと慎重に考えている。

質問 「地方創生加速化交付金」の関係コンサルと議

会との意見交換会があったが、次の「地方創生推進交付金」申請においての「核」となる考えは。

町長 加速化交付金の横展開の軸として、農林業の活性化・IT産業の光ブロードバンドの利活用を進め、地域の活性化に繋げたい。

質問 推進交付金については新たに5億円の申請ができる。関係コンサルは、意見交換会の場で「その事業は今から考えていかなければならない」と言われたが、どうお考えか。

町長 今の段階では、新たな5億円の推進交付金の利用は考えていない。

質問 基幹産業については、起業・雇用拡大・収入

施設の活用と経営力が大きな課題であると思うが、どういう運営方向をお考えか。

町長 高齢者の集いの場としての利用はされているが、町営での現状脱却は厳しいので、民間のノウハウを生かした経営試算ができれば受けてもらえるのではと思っている。

質問 4期目への姿勢として言われた「やり残したところ」とは。

町長 「高校の利活用の方向性を来年度までに」と、「農林業の具体的な活性化」であり、稼げる農業を作るために地方創生の加速化交付金から推進交付金へと繋げていきたい。

質問 地方創生の目的である人口減少に向けての対応を、日本中が必死になっている中で、どういう施策で生き残っていくか「核」となる考えの格差は大変大きな結果になってくると思う。町に不足しているのは「経営」というところの概念の確立であり、地元産業・産物を生かすための出口となる経営の考え方と施策を持たないと、人材育成・雇用拡大・収入安定による定着はできないと考える。トップとして必要なのは政治家としての力量だと思

う。が。

町長 販路を含め、農林業の活性化が一番であり、関係機関と連携しながら町の立地的優位性を活かした施策を考えていきたい。



多良木町役場

宇佐 信行



Q 槻木北線完了後の森林整備計画は

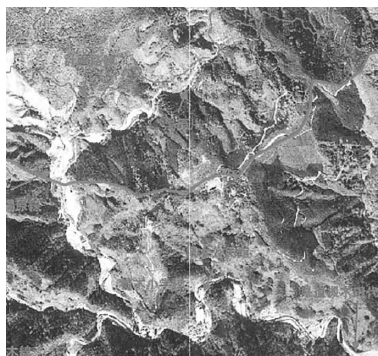
A 生産基盤整備の確立

質問 槻木北線の全線竣工

時期と後の森林資源の有効活用が期待されると思うが、今後、皆伐・造林・育林事業等をどのように計画し、その資源を町の発展に結びつけていくのか。

久保農林課長 竣工時期は

平成31年を予定している。利用区域内の森林資源は約1590ha、立木の蓄積量についても約38万m³、ほとんどが私有林・国有林になっているが、水源涵養・



森林資源が期待される槻木北線

山地災害防止等の対策・各森林整備計画に基づき適切な保育・間伐・跡地植栽等の確な更新が必要であるので、森林所有者に対する啓発活動も行っていきたい。

町長 林産物の六次産業

化・薪・茅・ドレッシング等々の商品開発等、町民の所得向上に繋がるような事業を展開し、雇用創出にもつなげ、また都市部にも発信していきたい。

Q リサイクル事業の今後の課題は

A 啓発活動の推進

質問 本町のリサイクル事業

の現状と今後の取り組み・課題は。

今井町民福祉課長 本町の

リサイクル事業は20数年前より今の仕組みになって定着している。27年度実績で

各行政区へ交付した金額が510万円、廃棄物処理業者への売渡金額191万円、差額の319万円は町から補填している現状である。今後の課題としては、各地区の高齢化での人員不足、運搬車輛等

Q 上水道事業の老朽管対策は

A 長期的な財政基盤の確立

質問 上水道事業の現状と

老朽管の敷設替え等、今後の事業計画の取り組みは。

小林環境整備課長 現在、

古い漏水の恐れのある所については3割弱の更新にとどまっている。今後、老朽

化を考えると整備費用は18億円程の負担を見込んでいる。財源をどのように調達すべきか、高齢化による世帯数の減少を考え、使用料の値上げを含め、起債・一般会計からの繰入等、長



老朽管の取り替え

の問題、また業者の休日出勤労働・雨天時の置き場の問題等が上がっている。区長会との協議の後に日曜日から土曜日に変更をしたが、分別の徹底等環境の面からも住民に意識づけをして、当面は今までの仕組みでやっていきたいと思う。先の課題も検討していきたい。

期的に計画を策定する必要があると認識している。

源 嶋
たまみ



Q 生ゴミの堆肥化の現状は

A 成果は見えす

質問 ゴミ処理とリサイクル事業について、生ゴミの堆肥化の現状は。

今井町民福祉課長 平成23年度から生ゴミ回収事業は、町内13行政区で実施している。堆肥化事業は、「堆肥化の研究」「土壌改良」としての利用方法を行っているが、まだ成果がなく、製品堆肥の販売には至っていない。今後対策を考え、ゴミの減量化に努めたい。



地域のゴミ収集所

Q 生活困窮者対策は

A 社協と町で連携

質問 貧困対策の充実について本町における生活困窮者とはいかなる人のことを対象にしているのか。

今井町民福祉課長 生活困窮者の支援法が施行されている。現に経済的に困窮

し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れがある者と定義されている。本町では、生活困窮者の支援は町福祉協議会が協議し、支援・相談を行っている。町民福祉課も相談を

受け情報を共有している。



町の社会福祉協議会

Q 教育目標の共有は

A 保護者への公開

質問 中学校の教育目標は、保護者との共有はなされているのか。

山田教育長職務代理者 中学校の目標は、毎年、学校経営の中で教育目標を掲げている。

中学校アクションプランが、校舎に掲げてあり「礼を尽くし」「場を清め」「時を守る」特徴ある教育を推進している。また、毎学期ごとに保護者や生徒向けの学校評価アンケートを実施

し、その結果は、学校評価委員や保護者にも公開している。



中学校

中村 正徳

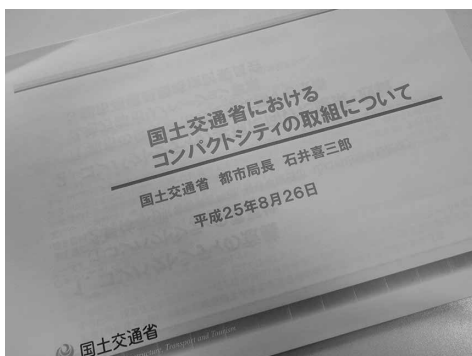


Q 移住定住策を推進すべきでは

A 協議をしながら検討

質問 「地方創生推進交付金の事業」のなかで、コンパクトシティ化に取り組み、都会の本町出身者が帰郷して町づくりに参加し、活躍できる場を提供して、移住定住策を推進すべきではないか。

環境の整備も将来必要と考えられる。今後関係機関等との協議をしながら検討していきたい。



コンパクトシティ構想

Q 「畜産団地」で振興策を

A 環境問題等にも配慮

質問 現在優良牛導入の町単独での補助金で振興・発展をしているが、創生事業・農業振興策の一環として「畜産団地」を造成し新規就業者や規模拡大のための振興策を進めるべきではないか。

町長 本町は農林業が基幹産業であり畜産業はその基本の一部分である。TPP問題をふまえ、国外輸出だけでなく国内需要の拡大や環境問題等も配慮しながら場所

Q 久米石塔群史跡の整備は

A 早く看板等の設置をしたい

質問 町は「歴史とロマンの里」と言っていたが、まだまだ未開の史跡や文化財が眠っていると思われる。その一つとして久米のシンボリックな久米城跡の「熊野座神社」鳥居近くの石塔群

があるが、今後調査し史跡の由来や案内看板やトイレそして駐車場等の設置はできないか。

信國教育振興課長 山域には民有地等もあり所有者との協議が必要と思われる。



熊野座神社石塔群

等の選定をしなければならぬと思う。即答はできないが、あらゆる農業の振興の色々な情報があれば伺っていただきたい。



県の共進会

町としてはできるだけ早く看板等の設置をしたいと思っている。

議員研修

会話弾んだ「えびす会」

出身県職員と議会の交流会 in 熊本市

平成 28 年 11 月 4 日

午前中は県の畜産共進会へ、午後は熊本城震災復旧についての現地研修、夕刻より県職員・町職員・議員参加の「えびす会」で意見の交流を行った。毎年行う交流会ではあるが、町政につながる貴重な意見交換の場でもある。県と地元を繋ぐパイプとしての本町出身職員の役割はたいへん大きく、その活躍を期待し応援していきたい。

皆さん頑張ってください！次回は多良木でと希望あり！

(文責 高橋 裕子)



コンクール入賞ならず！

広報特別委員会研修 in 菊陽町

平成 28 年 11 月 14 日

演題 「日本一に学ぶ～議会の役割・存在感発揮を」

講師 熊本県町村議会広報研究会 越地 真一郎氏

第 30 回全国町村議会広報コンクール

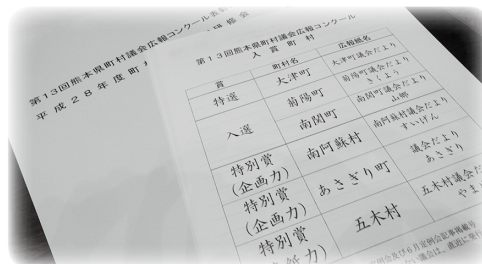
最優秀賞 山形県川西町から学ぶことは

1. 議会の存在感（役割）をアピール
2. チームプレー（議会全体での取り組み）を重視
3. 第三者の目（客観性）を導入

ということで、全国レベル・県レベルでの批評・提案等を受けた。県のコンクールでは特選に大津町、入選に菊陽町と南関町、特別賞企画力に南阿蘇村とあさぎり町、特別賞表紙力に五木村が受賞された。

本議会は広報紙作成の基本である『全体の「テーマ」を置くことの意味』からやり直しであると思った。

(文責 高橋 裕子)



—— 入賞町村 ——

広報研修レポート

わかりやすく見やすい議会だよりを目指して

平成 28 年 10 月 25 ～ 26 日全国町村砂防会館で開催された全国町村議会広報研修会に私と林田議員が参加し（熊本県は 5 議会）、研修は写真・編集・文書作成・現代語研修など一流講師による講義、実際の議会だよりを講師が具体的に評価・批判をしていく「クリニック」など盛り沢山であった。「クリニック」は「表紙写真の構図・撮影位置が悪い。このような写真を使えば良い」「漢字は常用漢字を使用すること」「固有名詞は表外であっても漢字で書く」「報告文書の見出しに注意」など具体的で大変参考になった。研修の成果を今後の編集に生かしたい。

(文責 宇佐 信行)



—— 研修資料 ——

どう進めるのか！？

議会活性化特別委員会

多良木高校施設設備利活用について意見交換会・・・平成 28 年 11 月 15 日、町長欠席の中、斉藤俊幸アドバイザー・(株) みんなの村 代表取締役 前川進介氏・執行部・議会というメンバーで意見交換会を開催。

町は、「多良木高校施設設備利活用検討会」(県 10 名・地元 14 名・H27. 5 月設立)での協議を H28. 8 月 23 日までに 4 回開催した。

【協議内容】・・・執行部資料より抜粋

1. 中学校移転に関して
2. H31 年度閉校まで、多良木高校施設設備を、新校となる南稜高校の体育・福祉の実習施設・球磨地域学実習施設として活用することに関して
3. 閉校までの物心両面での県の支援に関して
4. 閉校後の施設設備利活用に関して
5. 再編以後の球磨地域の高校について小・中保護者と生徒・町民への説明責任に関して

【現状と課題】・・・執行部資料より抜粋

1. 中学校の移転について高校との並存を含め事務折衝中。課題は、町は本当に移転の決定をするのかどうかと、関係団体との議論の進め方・綿密な方針が必要。
2. 実習施設としての活用について。課題は、県教育委員会の物心両面でのサポートという確約の実行に対し、地元側が要求したものであり、生徒と地元の心情が考慮されていないとして交渉を続けている。
3. 物心両面での支援については「さびしい思いをさせない」と県教育委員会の表明だが具体化はされていない。
4. 閉校以後については、県は町の方針待ちというスタンスである。
5. 再編以後について、県教育委員会は説明会とパンフで説明責任は果たしたという姿勢だが、保護者・住民に十分な理解があるとは言えない現状。

施設設備利活用について

1. 施設設備利活用について総務省外部専門家(斉藤俊幸アドバイザー、H28.7.1～H29.3.31 まで)を招聘し、事業委託契約をして月 1 回来町のペースで、講演会・意見交換会などの実施をする。
2. 「利活用対策室」においては教育機関の設置について、①組織形態別、②教育内容、③事業収支等についての検討。
課題としては、平成 28 年度中に町の方向性を決定し、検討するというスケジュールで進めていく必要がある。

【組織】県と町での組織・・・「多良木高校施設設備利活用検討会」

町の組織・・・「利活用対策室」

民間の組織・・・「高校活性化協議会(活性化委員会・未来プロジェクト委員会)」がある。

議会の意見・・・抜粋

1. 町長出張で、しかも町長の考えが示されていない会議に疑問。
2. 利活用について、「利活用対策室」は「学び舎」という方向で考えて欲しいと指示されている。企画課は「企業誘致」の話もある。斉藤アドバイザーは、「学び舎」については、地域にとってどうあるべきか一年間かけて勉強と協議が必要。とそれぞれ言われたが、町長の考えはどうか。アドバイザーに丸投げになるのでは。
3. 民間組織の「高校活性化協議会」で協議立案した文書は、県・町・議会等のどこに提出されるのか。「利活用対策室」とともに協議されていくのか。時間的なことも含め斉藤アドバイザーの任期中に方針を固め、この意見交換の会議の中で協議していくべきでは。
4. 町は、県は提案を待っている体制にあるということをしかりと認識し、方向を持って交渉していくべきではないのか。
5. 議会としては、地域の活性化が目的であることを共有し、議会活性化特別委員会において協議していく。

(文責 高橋 裕子)



—— 多良木高校 ——



多良木のイチゴはおいしいよ♪

豆ちしき

「地方創生」って何な？



多良男

よー「地方創生」ちゅー事は聞かばってんあら何な？

へー、じゃんー
「子ども時代」に、
どぎゃんとなつとか心配じゃもんない。
そいで町は
どぎゃんしやっとな？

何ばな？

「茅や薪」ばな、
へーそらー成功すんならば
よかばってん。
そらー、三月までにやーメドばつけん
ばんとじゃろタイ。

今からの事じゃって「大事」
かよナー

今からな、日本は少子高齢化社会になって
人口も減って働くもんも減ってくつど、
そいで、人口の減少に「待ッタ」ばかりで
「町の仕事場作り」ばして活性化させていかんばいかなとタイ。
おいどんが町も「町の資源や特性」ば生かして
町づくりしていかんばいけんタイ。

町はそいの資金の「加速化交付金」で
最初「ゼロ回答」で後から来たとばってん、
出遅れて今年はアドバイザーば入れて
色々しよいやるごたるばい。

やっぱ町は農林業の町やっで
「米のブランド化事業」やら
宮ヶ野に「サラダドレッシングの製造工場」
そいから神社の屋根やらに使う「茅」やら
今流行の「ストーブ薪」他に
「インターネット事業の実験施設」ば久米に
作いやっとな。

見直しは効くとげなばってん、
そいば見極めばして次は2月までにやー
「推進交付金」ちゅーとの申請の準備ばすつとゲナ。

じゃつとタイ、そいじゃって「議会と一緒に町民」も
どぎゃんして行きやつとかば目ばひからしていかなばんとタイ。



球磨雄

表紙写真募集

『こだま』の表紙にあなたの写真を掲載してみませんか？

こだまでは、町民の皆さまからの写真を募集しております。お気軽にお問い合わせください。

連絡先：多良木町議会事務局 42-1265

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。

昨年郡内の史跡が日本遺産に登録されました。そのほとんどの建物の屋根が茅葺です。町では昨年地方創生加速化交付金事業が採択され、その中で茅葺屋根の材料となる茅の生産に取り組みることになりました。茅の歴史は古く祖先が農耕民族となった時から何世紀の間、雨風や寒さから人類を守ってきました。その材料の茅が不足しているのです。町はその茅の栽培を山間地の耕作放棄地に栽培する事としました。そうすることで山間地の耕作放棄地の解消となり、農家の収入につなげる取り組みです。

今年度中に土質の検査を行い、来年度から栽培する事になりました。

今年も議会だより「こだま」のご愛読をよろしく願います。

(文責 山中 馨)

広報特別委員会構成

◎山中 馨 久保田武治
○高橋 裕子 宇佐 信行
林田 俊策 豊永 好人